

NEWS RELEASE



2026 年 7 月 23 日
株式会社エアロネクスト
株式会社マゼックス

エアロネクストと産業用ドローンメーカーのマゼックス、 次世代 AI 農業ドローンの社会実装に向け業務提携

～国家戦略特区を活用し、複数の農業ドローンの同時遠隔自動操縦オペレーションを実証し
スマート農業の高度化を加速～

株式会社エアロネクスト（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長 グループ CEO：田路 圭輔、以下「エアロネクスト」）は、産業用ドローンメーカーの株式会社マゼックス（本社：大阪府東大阪市、代表取締役社長：吉野 弘晃、以下「マゼックス」）と、農業分野における次世代 AI ドローンソリューションの実現を目的とした業務提携契約を締結しましたので、お知らせいたします。

本提携では、エアロネクストが開発を進める「AI フライトコントローラ^{*1}」および「同時遠隔自動操縦オペレーション^{*2}」技術と、マゼックスが有する農業ドローンの開発・製造・販売における豊富な知見・実績を融合し、複数機を安全かつ効率的に運用できる次世代 AI 農業ドローンの共同開発を推進します。

さらに、国家戦略特区を活用し、同時遠隔自動操縦による農業ドローン運用モデルを共同で実証・社会実装することで、日本のスマート農業^{*3}の高度化を加速するとともに、将来的には海外市場への展開も視野に入れた事業拡大を目指します。



■提携の背景と目的

日本の農業は、担い手不足や高齢化、耕作放棄地の増加など深刻な社会課題に直面しています。農業ドローンの普及は着実に進んでいるものの、多くの現場では「1 人の操縦者が 1 機を飛行させる」という運用が前提となっており、大規模農地や広域エリアにおいてさらなる省力化・効率化を実現するためには、新たな運用モデルが求められています。

エアロネクストは、物流ドローンで培ってきた運航管理技術を基盤に、AI フライトコントローラとクラウド運航システム^{*4}を組み合わせることで、一人のオペレーターが複数のドローンを同時に遠隔管理・自動運航する「同時遠隔自動操縦オペレーション」の実現を目指しています。

マゼックスは、国内有数の産業用ドローンメーカーとして、農業分野を中心に、農薬散布や粒剤散布をはじめとする農業ドローンの開発・製造・販売を行い、全国に 100 社以上の販売・サポートネットワークを構築するとともに、多くの農家をはじめ、農業法人・JA・自治体への導入実績を有しています。

両社はそれぞれの強みを融合することで、日本の農業が抱える人手不足や生産性向上という社会課題の解決に貢献するとともに、AI を活用した次世代スマート農業の社会実装を推進してまいります。

■業務提携の概要

1. 締結日 2026 年 7 月 23 日

2. 目的と内容

両社は、以下の取り組みを共同で推進します。

- ・ 同時遠隔自動操縦オペレーションに対応した次世代 AI 農業ドローンの共同開発
- ・ 農業ドローン向け AI フライトコントローラおよび自動運航技術の共同検討
- ・ 複数機運航を前提としたクラウド運航管理システム・地上システムの共同検討
- ・ 農業法人、JA、自治体、農業サービス事業者への共同提案・営業活動
- ・ 実証実験、展示会、セミナー等を通じた共同マーケティング
- ・ 海外市場を見据えた販売・事業展開の検討

NEWS RELEASE

- ・ 農業分野における AI・ロボティクス技術の共同研究

3. 両社が目指す姿

本提携により、両社は単なる農業ドローンの開発にとどまらず、「AI が複数のドローンを協調制御し、人とロボットが共存するスマート農業オペレーション」の実現を目指します。

将来的には、一人のオペレーターが複数台の農業ドローンを同時に遠隔管理し、防除・播種・施肥・センシングなどを統合的に実施することで、農作業の大幅な省力化と生産性向上を実現します。

さらに、作業データや飛行データを AI で解析・最適化することで、自律的に学習・進化する「フィジカル AI」の実装を進め、農業現場における新たな生産インフラを構築してまいります。

4. 今後の展開

今後は、同時遠隔自動操縦オペレーションに対応した次世代 AI 農業ドローンの共同開発を進めるとともに、全国各地で実証実験や顧客開発を推進し、農業法人、JA、自治体、農業サービス事業者との連携を拡大してまいります。

また、エアロネクストが物流分野で培ってきた AI 運航技術やクラウド運航システムを農業分野へ展開することで、「空のロボットインフラ」の活用領域を物流から農業へ拡大し、将来的には点検、防災、警備など多様な産業への展開も見据えたフィジカル AI プラットフォームの構築を推進してまいります。

両社は、本提携を通じて、日本発の AI 農業ドローン技術を世界へ展開し、持続可能な農業と新たな産業基盤の創出に貢献してまいります。

■代表者のコメント

＜株式会社マゼックス 代表取締役社長 吉野 弘晃のコメント＞

このたび、エアロネクスト様と業務提携できますことを大変嬉しく思います。日本の農業が抱える担い手不足や高齢化といった構造的課題を乗り越えるためには、省力化と生産性向上を両立する新たな運用モデルが不可欠です。私たちは、同時遠隔自動操縦オペレーションがその有力な解決策の一つであり、日本のスマート農業を次の段階へ進める重要な手段であると考えています。本提携を通じて、エアロネクスト様の先進的な AI 運航技術と当社の農業ドローンに関する知見・実績を融合し、持続可能な農業と新たな社会インフラの構築に貢献してまいります。

＜エアロネクスト代表取締役社長 グループ CEO 田路 圭輔のコメント＞

このたび、日本を代表する農業ドローンメーカーであるマゼックス様と業務提携できますことを大変嬉しく思います。当社はこれまで物流分野において培ってきた同時遠隔自動操縦オペレーション技術を、物流にとどまらず、様々な分野へ展開することで、「フィジカル AI」の社会実装を推進したいと考えております。

農業分野においても、担い手不足や高齢化が深刻化する中、AI による遠隔運航・自動運航は、生産性向上と持続可能な農業を実現するための重要な基盤技術になると考えています。本提携を通じて、マゼックス様の優れた農業ドローンと、当社の AI 運航プラットフォームを融合し、同時遠隔自動操縦オペレーションに対応した次世代農業ドローンの社会実装を加速してまいります。

さらに、農業にとどまらず、多様な産業分野へ AI モジュールを展開することで、日本発の「空のインフラ」と「フィジカル AI プラットフォーム」の構築を目指し、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

以上

【ニュースリリースへの報道機関からのお問い合わせ】

株式会社エアロネクスト 広報部 (担当：伊東)

Tel: 03-6455-0626 Email: aeronext_pr@aeronext.com

株式会社マゼックス グループ事業推進室 (担当：川崎)

Tel: 072-960-3221 Email: company@mazex.jp

資料

*1 AI フライトコントローラ

ディープラーニングなどの AI 技術を搭載し、リアルタイムのセンサー情報に基づいてドローンや航空機の姿勢や速度を最適化する次世代の飛行制御システム。

NEWS RELEASE

*2 同時遠隔自動操縦オペレーション

1 人のオペレーターが遠隔監視・コントロールセンターから複数台の無人機体（ドローン、自動配送ロボット、無人運航船など）を同時に制御・監視する技術。

*3 スマート農業

ロボティクス、IoT、AI などの先端技術を活用して、農作業の自動化や省力化、生産性向上を目指す新たな農業のこと。

*4 クラウド運航システム

クラウドを経由してドローンの運航をコントロールする、同時遠隔自動操縦を行うための基盤システム。クラウドをベースとして GCS（Ground Control Station 地上管制ステーション）と物流運航を統合して、ドローン物流運航を一つのシステムで管理することが出来る。クラウド経由で各ドローンのコントロールを行うため、遠隔かつ複数機の運航管理をすることが可能。

【株式会社マゼックスとは】

マゼックスは、「Drone is in your hands」をコーポレートスローガンに掲げ、創業以来の理念である「空の軽トラ」の実現を目指し、ドローンをより身近で実用的な存在にすることに取り組んでいます。産業用ドローンメーカーとして、農業用・運搬用機体を中心に、開発、製造、販売、修理、操縦指導までを一貫して展開しており、機体の開発・設計に加え、運用方法の確立まで含めたサービス体制を整えています。農業をはじめとするさまざまな分野の課題解決を支え、次世代の社会インフラの構築への貢献を推進しています。

*会社概要は <https://mazex.jp/company.html> をご覧下さい。

【株式会社エアロネクストとは】

エアロネクストは、「人生 100 年時代の新しい社会インフラで、豊かさが隅々まで行き渡る世界へ。」をミッションに掲げ、低空域を活用した新たな社会インフラの構築を推進しています。

独自の重心制御技術 4D GRAVITY[®]を核とした技術ライセンス事業や共同開発事業に加え、戦略子会社である株式会社 NEXT DELIVERY を通じて、地域物流を集約・効率化する新スマート物流「SkyHub[®]」事業およびドローン運航事業を展開しています。SkyHub[®]は国内複数地域で社会実装が進み、平時の物流から災害時の緊急輸送まで対応する、持続可能なフェーズフリー型の地域物流インフラとして展開を広げています。

さらに、この物流分野で培った同時遠隔自動操縦オペレーション技術を基盤に、「フィジカル AI」の社会実装を推進しています。AI モジュールを物流、農業、設備点検、防災・警備など幅広い産業分野へ展開し、多様なドローンやロボティクスを統合的に制御するプラットフォームの構築を進めています。

*会社概要は <https://aeronext.co.jp/about/company/> をご覧下さい。

*エアロネクストおよびエアロネクストのロゴ、NEXT DELIVERY、「4D GRAVITY (R)」ならびに「SkyHub (R)」は、株式会社エアロネクストの商標です。

*その他、このプレスリリースに記載されている会社名および製品・サービス名は、各社の登録商標または商標です。